

東成区

ごみゼロ



リバー

ニュース

第8号

平成28年12月発行

廃棄物減量等推進員 施設見学会 (東成区・生野区合同)

平成28年11月22日(火)東成区・生野区の推進員23名で、大阪府泉南市にある株式会社リバーズ泉南工場への施設見学会を実施しました。

株式会社リバーズは、大阪で唯一の100%リサイクル家庭紙製造会社として、平成16年からリサイクルトイレットペーパーの製造をしています。また製造工程で発生する廃棄物もリサイクル燃料に再利用し、ゼロエミッションの実践も行っています。

施設見学では、牛乳パックからトイレットペーパーを製造する工程を、株式会社リバーズの担当の方が丁寧に説明され、参加された推進員の方々も熱心に見学しながら積極的に質問もされ、有意義な見学会となりました。



ゼロエミッションとは

リサイクルを徹底することにより、最終的に廃棄物をゼロにしようとする考え方。

異業種の連携により、ある産業では廃棄物となるものを、別の産業で原料として使い、廃棄物を社会全体で利用しつくそうとするもの。

『30・10(さんまるいちまる)運動』で残さず食べましょう！

30・10(さんまるいちまる)運動』とは

会食や宴会の時の、『最初の **30 分間**と最後の **10 分間**はお料理を楽しむことで食べ残しを減らしましょう』という運動です。

食料の多くを輸入に頼りながら、大量の食べ物が捨てられていることは、「もったいない」だけでなく、ごみとなることから地球環境にも大きな影響を及ぼします。

「**30・10(さんまるいちまる)運動**」は、そんな食べられるのに廃棄されてしまう「食品ロス」削減の取組みとして、多くの自治体で実施されています。

宴会の時以外にも、外食する時には食べきれる量を注文するなど、**残さず食べる**ことで「食品ロス」の削減に取り組みましょう。

宴会の食べ残し量は、ランチ・定食の 5 倍です。

会食や宴会で、楽しい会話に夢中になってお料理を残していませんか？

宴会の食べ残し量は、ランチ・定食の 5 倍！

せっかくの楽しい集まりを、おいしくきれいに食べきって、環境にやさしい集まりにしませんか？

会食・宴会のときには、『**30・10(さんまるいちまる)運動**』で残さず、食べましょう！！

1. 注文するときは、食べられる量を注文しましょう。また、食べられないものは、先に伝えておきましょう。
2. 乾杯後 **30 分間**は、席に着いて、お料理を楽しみましょう。
3. お開きの **10 分前**は席に戻り、お料理を残さずに食べましょう。

宴会幹事のみなさんへのお願い

- お店の予約をするときには、食べられる量の注文をお願いします。
参加者の年齢層や男女比、食べられないものなどを伝えて、食べられる量のお料理を出してもらうようにしてください。
- 宴会開始時とお開きの **10 分前**には、次のようなアナウンスで食べきりの働きかけをお願いします。
【開始時】:「本日は、おいしいお料理を十分にご用意しました。お酌に回る前に、**30 分間**はお席に着いて、お料理を楽しみましょう。」
【お開き **10 分前**】:「間もなくお開きとなりますが、テーブルの上には、まだまだお料理が残っています。今一度、お席にお戻りいただき、お料理をお楽しみください。」

〈編集・発行〉

大阪市東部環境事業センター

大阪市生野区巽中1-1-4

TEL:06-6751-5311 FAX:06-6753-3041

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

